

「ニュース」

1. 豪州向け日本産柿生果実 新たな植物検疫条件で輸出解禁

— 農林水産省 —

豪州は、日本産かき（柿）生果実について、臭化メチルくん蒸等の一定の植物検疫条件を満たしたものの輸入を禁止していたが、日豪間の植物検疫協議の結果、新たな輸出植物検疫条件に合意し、臭化メチルくん蒸処理によらない新たな植物検疫条件により、日本産かき（柿）生果実の輸出が解禁されることとなった。豪州が侵入を警戒する病害虫が我が国で発生していることを理由としていたが、1月25日付けで、日本産かき（柿）生果実の輸出に係る豪州の改正規則が公表された。なお、輸出を検討する場合はあらかじめ植物防疫所に問い合わせるよう案内している。

植物防疫所ホームページ <http://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/outline/index.html>

2. キウイフルーツかいよう病研究成果伝達会

—かいよう病防除対策について最新の研究成果を紹介—

— 農研機構 —

平成 27 年から農研機構が研究総括として農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「かいよう病 Psa3 に対して、安心してキウイフルーツ生産を可能とする総合対策技術」を推進してきた。これまで得られた研究成果を広く紹介し、意見交換を通じて、被害を最小限に防ぐための知識や技術の普及を図ることを目的に開催される。

日 時： 平成 30 年 2 月 28 日（水） 13 時～16 時.

場 所： 香川県高松市 サンポートホール高松 5 4 会議室
プログラム

- ・かいよう病の病徴紹介と類似症状見分け方チャートの利用方法
- ・かいよう病に対する迅速・簡易な診断技術
- ・銅水和剤を基幹としたかいよう病に対する新たな防除体系
- ・かいよう病の被害を受けた枝の切除基準と被害枝処分技術
- ・国内で経済栽培可能な抵抗性品種の探索

申込みは 2 月 14 日(木)まで、

詳細はこちらから。 http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nifts/079341.html

3. 第 8 回農業環境インベントリー研究会

「農業～環境～多様性につながる統計データ解析」

－農研機構－

環境資源や環境生物の情報など農業環境分野で蓄積される新しいタイプの情報を、適切に活用するための統計学的なモデリングや数値解析などのデータ解析手法について紹介するとともに、関連する課題について参加者相互の議論を目的に開催される。

日 時： 平成 30 年 2 月 23 日（金）13 時～17 時 20 分

場 所： つくば国際会議場（エポカルつくば） 中ホール

プログラム

- ・趣旨説明
- ・モデルベースで新品種を開発するシステムの構築を目指して
- ・作物生産と気象の関係を明らかにする統計学
- ・侵入外来昆虫類のリスク評価および防除対策 最近の事例から
- ・バケツ一杯の水で棲んでいる魚がわかる技術:

申込み、詳細はこちらから。 <https://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2018/01/079220.html>

4. 農林水産分野の生物多様性連携シンポジウムの開催

「自然資本でつなげる・つながる～農林水産分野の自然資本の取組を起点とした SDGs への貢献」

－農林水産省－

生物多様性保全活動を地域価値向上につなげていこうとする活動事例を学び、今後の農山漁村地域の生物多様性保全活動を効果的に促進していくための方策を考えることを目的としている。自然資本を活用した経済的連携を推進する方策を提案する。

日 時： 平成 30 年 2 月 28 日（水）14 時～17 時 30 分

会 場： 農林水産省 本館 7 階 講堂

プログラム：

- ・基調講演「SDGs で自分を変える、世界が変わる。」 ※SDGs：持続可能な開発目標
「農林水産分野の自然資本の取組と SDGs の関係」
- ・事例報告「海外企業の自然資本経営」
「生産者と消費者のフードチェーンでつながる田んぼとお米と環境と」
「国産材・地域材利用による生物多様性配慮・環境コミュニケーション」
「遊休荒廃地を活用した椀子ヴィンヤードぶどう畑における生態系調査・植生再生」
「世界農業遺産「大崎耕土」における持続可能な水田農業」
「生物多様性を伝える活動（全国の調査研究と取材から）」

- ・パネルディスカッション

「自然資本から広がる SDGs に対する農山漁村の貢献可能性～生産者と消費者をつなぐ」

申込は 2 月 23 日まで、詳細はこちらから。 <http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/180126.html>

5.「農林水産業イノベーションシンポジウム」の開催

－農林水産省－

人口減少や高齢化が進む中、農林水産業における技術革新が喫緊の課題となっている。ゲノム編集やロボット・AI等を活用した現場での技術革新について理解を深め、農林水産業への最新技術の導入が促進されることを目的に開催される。

日 時： 平成30年3月20日（火）13時30分～16時45分

場 所： 農林水産省 本館7階 講堂

プログラム：

- ・特別講演 「ゲノム編集で世界の胃袋を満たす」
- ・最新技術紹介「ドラえもんの世界が農業にやってくる」
「ロボット×ICTで切り拓く未来の水田農業」
「森林（もり）と共に。革新的林業機械で支える林業生産」
「地域を守る！先端技術と地域の力を合わせた鳥獣害対策」
- ・政府における科学技術振興の動き
- ・農林水産技術会議委員と講演者との意見交換

申込みは3月13日まで、詳細はこちらから。 <http://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/180125.html>

ミニ・トピック

1月31日は、3年ぶりの皆既月食でした。
薄雲がかかるとの予報でしたが、きれいに晴れ、
一時間以上にわたる皆既月食をみることができました。
（写真同好会 林氏 撮影）

